

第5回（平成26年度）学会認定・アフェレーシスナース制度試験結果

平成27年1月30日

学会認定・アフェレーシスナース制度

試験委員長 山本晃士

審議会長 池田和眞

日時

講習会：平成26年11月22日（土）13～18時

試験：平成26年11月23日（日）10～12時

場所：神奈川県立がんセンター

結果および講評

第5回講習会には受験資格を満たした受験者全員の54名が出席した。翌日、第5回筆記試験が行われ、54名が受験した。筆記試験は多肢選択式問題と穴埋め記述問題から成り、前日の講義内容に即して、アフェレーシスの原理と成分採血、造血幹細胞および移植の基礎と臨床、血液製剤の使用指針、輸血療法の実際などについての知識を問う計90題が出題された。試験時間は2時間で、ほぼ全員が全問題を解答していた。全受験者の平均は77.2点と昨年（77.9点）とほぼ同じレベルで、標準偏差は8.45、最高点は88点、最低点は47点であった。試験後に開催された審議会にて「概ね6割」の合格基準に達していると判断された51名を合格と判定した。試験問題の難易度はそれほど易しくないと考えられたが、概して成績は良好であった。なお、病院所属看護師20名と血液センター所属看護師34名の平均点はそれぞれ73.8点、79.3点で、血液センター所属看護師の方が約5点高く、造血幹細胞移植や輸血療法についての知識も十分であると評価された。